

控え壁式擁壁の設計計算 Ver.9

控え壁式擁壁の安定計算、部材設計を行うプログラム

プログラム価格
¥173,800
(税抜 ¥158,000)

底版拡張オプション
¥44,000
(税抜 ¥40,000)

Windows 11 対応

電子納品

3D PDF

IFC

「土留擁壁・石積の設計と解説」等に示される控え壁式擁壁の設計手法を参考として、安定計算及び部材設計を行います。

- 形状タイプ: 逆T型、L型、天端形状: 前面突起、背面突起、前面張出、波返し工
- 二点折れ切土土圧に対応
- 逆L型支え壁式擁壁に対応
- ボーリング交換用データインポート対応

【「擁壁の設計」で不可能な照査】

- 安定計算: 奥行方向の幅を考慮した全幅当りの照査
- 堅壁の設計: 堅壁と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より上方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- かかと版の設計: かかと版と控え壁とで支えられたスパンを連続版としてみなして設計、控え壁より後方部分は、通常の擁壁と同様に片持ち梁として設計
- 控え壁の設計: 堅壁と控え壁、かかと版と控え壁で形成されるT形梁として照査
- 接合部の照査: 堅壁と控え壁、かかと版と控え壁の各接合部の鉄筋量照査、各部材の照査位置は、連続梁・控え壁、片持ち梁毎の個別指定が可能

【底版拡張オプション】

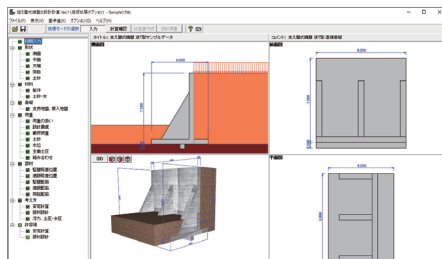
- 杭基礎時・直接基礎時の平板解析が可能
- Engineer's Studio®の平板解析を用いて前壁及び控え壁を固定辺としたモデル化を行い材料線形として解析

Ver.9 改訂内容

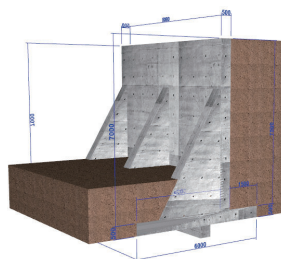
2022年12月23日リリース

1. 宅地防災マニュアル(令和4年2月版)に対応
2. 64bitに対応

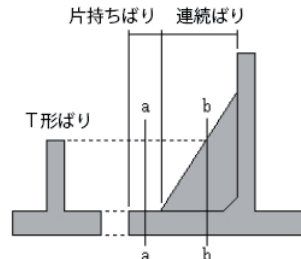
メイン画面



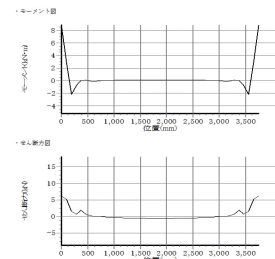
支え壁式擁壁



つま先版の照査



直接基礎平板解析の断面力図



トンネル断面算定

NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援

プログラム価格
¥233,200
(税抜 ¥212,000)

Windows 11 対応

電子納品

「設計要領 第三集トンネル編」を主たる適用基準とし、NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援するプログラムです。

- 内空断面形状: 3心円
- 横断勾配: 片勾配、拝み勾配
- 建築限界: 歩行空間は、設置無し、右側、左側、両側の何れかを指定可能
- インバート・側壁導流: 設置無し、設置から指定可能
- 内空断面トライアル: 横断勾配は、最大3ケースまで指定可能
- 車道部建築限界、歩行空間建築限界、決定断面を、「GeoFEAS®2D」で読み込み可能な地盤解析用地形データファイル形式で出力可能

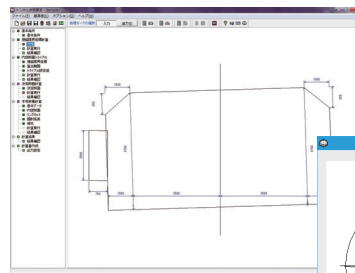
設計要領

東・中・西日本高速道路(株)	設計要領 第三集トンネル編 平成24年7月 設計要領 第四集 幾何構造編 平成19年8月
----------------	---

設計基準

(公社)日本道路協会	道路構造令の解説と運用 平成16年2月
その他	国土交通省 土木工事積算基準 昭和63年度版(一財)建設物価調査会 トンネル標準示方書 山岳編・同解説 昭和61年度版(社)土木学会

メイン画面



地盤解析ファイル出力設定画面

